

令和元年度学校関係者評価委員会

議 事 録

慈恵歯科医療ファッション専門学校

日時：令和2年3月17日(火)14:00～

場所：学校法人さくら学園 応接室

記録：山中 幸子

参加者

【外部委員】3名

浅井 章夫 様 (浅井歯科医院院長)

樋口 泰弘 様 (水野株式会社営業部長)

宮治 友也 様 (地域住民代表)

【内部委員】

岩瀬 せつ子 (学校法人さくら学園理事長)

大石 純男 (慈恵歯科医療ファッション専門学校 校長)

岩田 美幸 (ファッションベーシック学科 学科長)

伊藤 清美 (医療事務学科 学科長)

山中 幸子 (歯科衛生士学科 学科長)

【委員会次第】

司会・進行 大石 純男

開会：大石 純男委員の開会挨拶にて開会

1 理事長挨拶 (岩瀬 せつ子)

今日はお忙しい中ご出席賜りお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で各部署に影響がでており、卒業式、入学式、実習等の対応に苦慮している。

今日は学校関係者評価委員会へのご意見などよろしく願いいたします。

2 参加者自己紹介

上記の出席者参照

3 学校法人さくら学園の概要説明（理事長 岩瀬 せつ子）

- ・学校法人さくら学園系列の幼稚園、保育園、こども園の近況報告。
- ・こども園への移行が進んでいる中、地域のニーズにこたえるべき、今後どのように対応していくかが課題である。
- ・国としては、幼稚園形式よりこども園への移行を期待している。将来に向け課題を整理しながらまとめていきたい。
- ・高等専修学校においては200名弱の生徒が入学し、男子生徒（介護科）も受け入れ、教育をおこなっていきます。

《質問》 樋口委員

- ・幼稚園と保育園の違いについて（対象年齢など）

《回答》 岩瀬理事長

- ・下記の表の内容で説明。

	監督官庁	対象年齢	条件
幼稚園	文部科学省 「教育」	満3才～5才 (小学校就学前)	母親が仕事をしていない
保育園	厚生労働省 「保育」	0才～5才 (小学校就学前)	母親が仕事をしている。
認定こども園	保育と教育を兼ね備える		

4 学科説明

1) 岩田（ファッションベーシック学科 ファッションテクニカル学科）

- ・当学科は就職を最終目標として取り組んでいる。
そのためにインターシップ制度やアパレル企業とのコラボを取り入れ、明確な目的意識を持たせ、コミュニケーション能力の育成をはかっています。
- ・ネイルの授業もおこなっている。
- ・来年度は留学生9名が入学してくるので期待している。

2) 伊藤（医療事務学科）

- ・医療秘書、総合ビジネス、歯科アシスタントの3つのコースがある。
- ・2年間の教育期間において3回の病院実習を実施し、実践の現場を学び就職につなげていく。

3) 山中（歯科衛生士学科）

- ・ 歯科衛生士学科の目標は、3年間の教育期間にて必要単位（125単位）を修得し歯科衛生士の国家試験に合格し歯科衛生士免許を取得することである。
- ・ 教育の流れは1年、2年前期まで学校にて講義・実習の単位を取得し、2年後期から3年前期まで臨地臨床実習（900時間）にて実践を積む。
この臨地臨床実習の単位を修得すると医療従事者としての自覚が育まれる。

5 就職状況

別紙資料にて報告。

1) 令和元年度の実績報告

- ・ 三科の卒業生数、就職率、進学率、その他（母国への帰国及び現在求職中）について別紙を参照し報告。
- ・ 歯科衛生士学科 求人件数約500件、求人数約900人
歯科衛生士の不足が読み取れる。

《意見》浅井委員

質の高い歯科衛生士の輩出をお願いします。今年度は卒業生が17名と少ないが次年度よりは在校生数が増加しているので今後に繋げてください。

6 学生アンケートについて

学生から様々な要望事項が出されている。改善できること、配慮できること、実習施設からの要望、変えることができない理由等をきちんと説明して、改善していくことを説明する。

《意見》樋口委員

学生からの素直な意見が多く、対応策に先生方のご苦勞について言及された。

7 自己評価結果の説明

別紙自己評価報告書（令和元年度）にて報告
項目ごとに簡潔に説明する。

8 自己評価結果における審議

《意見》浅井委員

歯科衛生士学科17名の卒業生に期待している。アンケートでは自分の意見を発信している。当たり前のことを言っている。ボランティアの参

加は良い経験である。口腔ケアの仕事増、結婚からのカンバックなどで歯科衛生士の需要が高まっている。

《意見》 樋口委員

成人学生への対応でご苦労されていることが分かります。歯科医院での口腔ケアを担当される歯科衛生士さんは温かく優しい言葉遣いが大事である。3ヶ月に一回の検診が行われている。

《意見》 宮治口委員

留学生を受け入れることは、劇的な変更である。受け入れ側の人員体制、留学生担当、寮の手続き、日本語能力教育等の配慮が必要である。

《回答》 岩瀬理事長

優秀な留学生・真面目な留学生が増加してきている。

以上のご意見をいただき学校関係者委員会を閉会した。